

# この花を見たら 駆除にご協力ください！



## オオハンゴンソウは、「特定外来生物」です！

オオハンゴンソウは、7月～10月頃にかけて、鮮やかな黄色の花をつけます。市内各地の道端や河原などでよく見かけます。しかし、きれいな花だからといって、自宅の庭や花壇に植えては、絶対にいけません！

オオハンゴンソウは、日本の生態系に重大な影響をおよぼすおそれがある植物として、外来生物法による「特定外来生物」に指定され、栽培、運搬、販売、野外に放つことなどが禁止されています。

## ○オオハンゴンソウ

北米原産のキク科の多年草です。日本へは、園芸種として持ち込まれたと考えられます。

漢字では「大反魂草」と書きます。

花は、直径10cm前後で黄色いため、とても目立ちます。葉は、羽状に5つから7つに深く裂け、ヨモギによく似ています。背の高さは、2～3mと高いため、背の低い植物に日が当たらなくなります。さらに、地下茎からは、他の植物の生長を妨げる「アレロパシー（他感作用）物質」を出すため、他の植物が生育しなくなってしまう。



## ○種差海岸の貴重な植物を守ろう！

オオハンゴンソウは、もともと種差海岸にはなかった帰化植物で、放っておくと種差海岸の生態系に深刻な影響を及ぼします。

現在は、ボランティアや行政による駆除活動が行われていますが、オオハンゴンソウの繁殖力が強すぎ、今でも大群落が各所にみられます。

もし、皆さまの所有する土地にオオハンゴンソウが生えているのを見かけたら、放っておかずに駆除しましょう。

種差海岸で駆除ボランティアを行った団体の一例

- 種差海岸ボランティアガイドクラブ
- 八戸市鷗盟大学 学友会
- 八戸市立種差小学校児童
- 青森県退職校長会 三八支部
- 青森県立八戸南高等学校生徒
- 八戸市立鮫中学校生徒
- 八戸工業大学第二高等学校生徒
- 八戸市立高等看護学院 学友会
- 八戸市職員

※町内、団体、企業の方も、駆除にご協力をお願いします。

## ○駆除の方法

1. 花が咲いている場合は、花を摘む。（種を落とさないように注意。）
2. 根から引き抜く。（根を残すと再生します。）
3. 天日にさらして乾燥させる。（オオハンゴンソウは生きたまま移動させる、保管するなどの行為が禁止されています。）
4. 燃やせるごみとして八戸市指定ごみ袋に入れて出す。（1回の収集に出せるのは2袋まで。）